

令和7年度 第2回 図書館業務専門講座 開催要項

令和8年1月
鳥取県立図書館

1 趣旨・目的

図書館の新たな役割のひとつとして、地域社会における課題を認識して住民と連携・協働しながら図書館の資料や場の活用を促し、その課題解決につなげていくことが挙げられる。その役割を果たすためにはどのような取組が必要か。先進的な事例を学ぶとともに、取組を実践していく上で図書館職員に求められる「企画力」「対話力」を身につける。

2 日 時 令和8年2月18日（水）午前10時30分から午後4時まで（午前10時から受付開始）

3 会 場 鳥取県立図書館 大研修室（鳥取県鳥取市尚徳町101 電話：0857-26-8155）
※Zoomによるオンライン配信あり（講義のみ）

4 参 加 対 象 県内の公共図書館職員 等

※高等学校図書館、特別支援学校図書館、大学図書館等、他の館種の職員も参加できます。

5 実施内容

(1) 講義「地域社会の情報と人をつなぐハブとしての紫波町図書館の取組」

地方創生の事例として紫波町オガールプロジェクトから、まちづくりの中核施設として地域課題の発見と解決を模索する紫波町図書館の取組事例を学ぶ。

- ・図書館員の専門性を生かした地域課題の把握方法
- ・地域社会の課題発見につながる具体的なサービスや取組内容 など

(2) ワークショップ「地域に出ていこう！みんなで企画展示をつくってみよう！」

地域課題の例をもとに、実際に企画展示案をつくるワークショップを行う。

※事前課題があります。裏面の「9 事前課題について」を御参照ください。

6 講 師

手塚 美希 氏（紫波町企画総務部情報交流館 紫波町図書館 主任司書）

（プロフィール）

秋田県出身。浦安市立中央図書館、秋田市立中央図書館明徳館、秋田県立図書館で非常勤職員として勤務後、2010年7月から紫波町企画課公民連携室に図書館専門嘱託員として勤務。紫波町図書館の開館準備を単身赴任しながら行う。2012年開館を経て現職。日本のこれから図書館のあり方を示唆する、先進的な活動を行う図書館を表彰する「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー」2016年優秀賞受賞。2019年、全米図書館協会年次大会2019で紫波町図書館の取組を発表。現在、岩手と愛知の往復生活。みんなで飲む日本酒が好き。

7 日 程

10:00	10:30	10:35	11:50	12:00	13:00	15:50	16:00
受付	開会	講 義 (75分)	質疑 応答 (10分)	昼休憩	ワークショップ (170分)	閉会	

8 申込方法

(1) 申込方法

とっとり電子申請サービスにより、所属で取りまとめて申し込んでください。（下記のリンク先から申込み）

※とっとり電子申請サービスでの申込みが難しい場合は、担当者まで御連絡ください。

- ・LGWAN用

http://e-tumo.bizplat.asp.lgwan.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19310

- ・インターネット用

https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19711

(2) 申込期限 令和8年2月10日（火）

9 事前課題について

ワークショップに参加される方は、別途お送りするワークシートに記入の上、講座当日、持参してください。（紙面でお持ちください。）

10 備 考

- ・午前中の講義のみZoomによるオンライン配信を行います。午後のワークショップは、会場参加の方のみ御参加いただくことができます。
- ・オンライン参加の方には、電子メールで視聴に必要なZoomのURL、ID、パスワード、配布資料をお送りします。（前日までに届かない場合は担当者まで御連絡ください。）

11 主 催 鳥取県立図書館

担当

支援協力課 佐伯

電話：0857-26-8155

ファクシミリ：0857-22-2996

電子メール：toshokan@pref.tottori.lg.jp